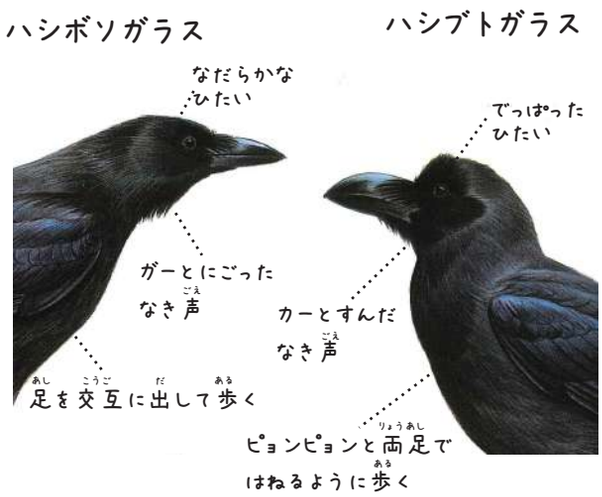
イー・ダブリュ・シー
EWC

エコクイズ ヒント 3月

1 カラス

日本で日常的に見られるカラスは、「ハシブトガラス」と「ハシボソガラス」の２種類です。カラスはとても頭のいい鳥で、ある程度の社会性を持っていて、仲間同士で協力したり、鳴き声で意思の疎通を図っています。巣は、木の上や電柱など高い所にあり、看板の上などに作ることもあります。卵を抱えている期間は２０日前後で、卵の数は２～５個です。ヒナは３０～４０日くらいで巣立ちます。



参照「小学館の図鑑 NEO 鳥」小学館

2 「サクラ」のつく言葉

「さくらもち」→あんこの入ったおもちを塩漬けにした桜の葉で包んだ和菓子。
「さくらえび」→深海に住む小型のエビ。全体に淡黄色で、干して食用にしている。
「さくら貝」→淡黄色の２枚貝で、貝細工などに使われる。
この他に桜のつく言葉は、「サクラソウ」「桜吹雪」「さくら鯛」「桜紙」「桜湯」などたくさんあります。

3 メジロ

メジロは全長１２cm くらいで、スズメより小さめの鳥です。緑がかった背中と目のまわりの白い輪が特徴です。日本では、冬の寒冷地を除く全国で広く見られます。
花のみつを大変好むため、春には好物の花のみつを求めて、南から北へ移動するものもいます。
特に早春には、梅の花に群がる様子が、よく観察されます。

参照「小学館の図鑑 NEO 鳥」小学館